

鬼怒工水だより(創刊号)

発行日:平成24年8月
発行者:栃木県企業局水道課

「鬼怒工水だより」の創刊にあたって

鬼怒工業用水道をご利用いただいております皆様並びに関係の皆様には、日頃から工業水道事業の推進にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

この度、鬼怒工業用水道事業を広く皆様に知っていただくために、広報紙「鬼怒工水だより」を創刊いたしました。

本事業は、鬼怒川左岸台地地区工業水道事業として、宇都宮テクノポリス開発計画の中核である清原、芳賀、芳賀高根沢の3工業団地のほか、平出、真岡の工業団地等を対象に計画1日最大給水量147,100^m3の工業用水を供給するもので、昭和53年度に専用工事に着手、昭和57年10月から一部給水を開始するとともに、平成7年4月には施設能力73,550^m3/日を完成し、現在は、清原、芳賀及び芳賀・高根沢の3工業団地の企業に給水しております。

栃木県企業局では、低廉かつ安定的で良質な工業用水の供給を基本とし、これからも地域社会の要請に応えるよう、本県産業の発展と県民生活の向上に寄与していくことが鬼怒工業用水道事業の役割であると考えております。

しかしながら、近年の工業水道事業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、産業構造の変化はもとより、行財政改革の推進、地球環境対策等さまざまな経営課題への対応が求められております。

今後も、ユーザーの皆様や関係の皆様からの、さまざまな話題をご提供いただきながら、工業用水の効率的・安定的な供給に向け、なお一層の努力をしていきたいと考えておりますので、引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

栃木県企業局水道課

●施設の概要

水源		表流水(川治ダム)
計画取水量	158,100 ^m 3/日	
計画給水量	清原工業団地	29,650 ^m 3/日
	芳賀工業団地	31,610 ^m 3/日
	芳賀・高根沢工業団地	
	平出工業団地	17,600 ^m 3/日
	真岡第1工業団地	13,400 ^m 3/日
	真岡第2工業団地	14,700 ^m 3/日
	自動車工場等	40,140 ^m 3/日
	計	147,100 ^m 3/日



鬼怒工業用水道施設の全景

●平成24年4月現在の状況

施設能力	73,550 ^m 3/日
契約水量	24,779 ^m 3/日
受水企業数	49社

※平成7年4月には施設能力73,550^m3/日を完成し、現在は、清原、芳賀及び芳賀・高根沢の3工業団地の企業に給水しております。

●施設設備の維持作業

常に良質な工業用水を安定して供給できるよう、定期的に施設や設備の点検・整備を行っております。

- ・日常点検:施設巡視、管路巡視等
- ・定期点検:受変電設備点検、取水ポンプ点検、水質計器点検等



工水薬品沈澱池及び配水池清掃作業

★工業用水道についてのお問い合わせ★

栃木県企業局水道課	〒320-0033 宇都宮市本町12-11	TEL028-623-3820	FAX028-623-3826
栃木県鬼怒水道事務所	〒329-1233 高根沢町宝積寺1900	TEL028-675-1331	FAX028-675-4818

栃木県企業局水道課ホームページ: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/j04/index.html>

意外と知られていない水質！

清原、芳賀、芳賀・高根沢の各工業団地に供給している工業用水は、鬼怒川から取水しております。

工業用水を使用されている企業の皆様の声にお応えできるよう日々努力を重ねており、給水基準(栃木県鬼怒工業用水道給水規程)を十分に満足する良好な水質です。また、日本工業用水協会の供給標準水質も大幅にクリアしています。

ご利用をご検討の際は、処理済水のサンプルをご提供することもできますので、お気軽にお問い合わせください。施設見学も随時受付けております。

●特徴

- ・濁度の実績値は、平均2度未満(最高でも3.5度以下)となっております。
- ・鉄イオン濃度が低いため、腐食性は低く、また赤水が発生しにくい特徴があります。
- ・TOC及び塩化物イオンが低濃度であり、汚濁の低い良質なものです。

●年度別平均水質データ

項目	単位	H19	H20	H21	H22	H23	給水基準値等
水温	℃	14.8	14.5	15.3	14.6	14.7	30以下
濁度	度	1.3	1.2	1.8	1.4	1.1	15以下
pH		7.4	7.5	7.5	7.5	7.4	6.0~8.6
アルカリ度	mg/l	29	27	30	28	28	75以下
硬度	mg/l	39	38	39	37	36	120以下
蒸発残留物	mg/l	88	83	90	82	87	250以下
塩化物イオン	mg/l	6.4	5.4	5.5	5.4	6.1	80以下
鉄イオン	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.3以下
マンガン	mg/l	0.002	0.003	0.003	0.005	0.005	0.2以下
ケイ素	mg/l	8.1	8.0	9.4	9.3	9.0	—
TOC(全有機炭素)	mg/l	<0.5	<0.5	0.6	0.6	0.5	—
SS(懸濁物質)	mg/l	1.4	1.1	0.8	0.9	1.8	—
電気伝導率	mS/m	12	10.8	11.9	11.0	10.5	—

※データの数値処理:検出限界値未満(検出せず)については、検出限界値で計算しています。

※「栃木県鬼怒工業用水道給水規程」第17条に規定されている基準項目は、水温、濁度及びpHです。

●試験項目の説明

項目	説明
濁度	水の濁りの程度を数値で示したものです。水の清濁、水処理効果の判断に用います。
pH(水素イオン濃度)	中性(pH7)付近であることが望ましく、どちらかに大きく傾くと金属やコンクリートの腐食の原因となります。
アルカリ度	20mg/l前後に推移することが望ましく、pHの低下を緩和させる働きがあります。
硬度	200mg/l以下を軟水と呼んでおり、硬度が上昇するとスケール発生の原因になります。
蒸発残留物	濃縮されると、スケール発生の原因となります。
塩化物イオン	主に人為汚染の指標とされています。上昇すると鉄管等の腐食を促進させる傾向にあります。
鉄イオン	高濃度では赤水の原因となります。
マンガン	高濃度では黒水の原因となります。
ケイ素	硬質スケールの原因となる物質です。
TOC(全有機炭素)	水中に含まれる有機物の量を示します。
SS(懸濁物質)	水中に浮遊する物質の総量です。
電気伝導率	電気の通しやすさを示します。汚濁物質が多いと電気が通りやすく、電気伝導率が高くなります。

※スケール:水中のカルシウムやマグネシウムが析出したものです。

※その他、ここに掲示していない水質検査も実施しております。お気軽に鬼怒水道事務所(TEL028-675-1331)までお問い合わせください。